

拓一の日

※日程は変更になる場合がありますので必ずHPでご確認ください。

オープンキャンパス 要予約 ▶▶▶

7月18日(土) 14:30～17:00(来校は16:30まで)

夏の学校説明会 要予約 ▶▶▶

8月1日(土) 1回目 10:00～ 2回目 14:00～

8月22日(土) 1回目 10:00～ 2回目 14:00～

入試問題解説会 要予約 ▶▶▶

8月21日(金) 14:00～

ミニ学校見学会 要予約 ▶▶▶

7月28日(火)～8月28日(金) 1回目 10:30～ 2回目 14:00～

※8月11日～15日、土、日、祝日を除く

文化祭 (予約不要) ▶▶▶

9月12日(土)・9月13日(日) 10:00～15:00(来校は14:30まで)

学校説明会 要予約 ▶▶▶

第1回 10月17日(土) 10:00～ 第3回 11月21日(土) 14:00～

第2回 10月31日(土) 14:00～ 第4回 11月28日(土) 14:00～

※文化祭以外すべてのイベントは本校ホームページより予約が必要になります。

令和3年度入試日程(予定)

推薦入試Ⅰ 1月22日(金)

推薦入試Ⅱ 1月22日(金)(都内生・神奈川県生を除く)

一般入試Ⅰ 2月10日(水)

一般入試Ⅱ 2月12日(金)

来校の際は、上履きと靴袋をご持参ください。お車での来校は、ご遠慮ください。



拓殖大学第一高等学校
TAKUSHOKU UNIVERSITY DAIICHI HIGH SCHOOL



〒208-0013 東京都武蔵村山市大南4丁目64番5号 TEL.042-590-3311(代表) / 042-590-3559(入試部)
042-590-3623(入試部)

www.takuichi.ed.jp

拓殖大学 第一高等学校

学校案内
2021





すべての生徒が健やかに、
バランスよく成長できる3年間に。

生徒一人ひとりが自らの将来を見据え、
幸せに生きていく力を
身につけることができるように
全力でバックアップします

学校長 宮川 努



TAKUICHI
Special
Contents

パンフレット専用の 特別な拓一をゲットしよう

パンフレットのQRコードを読み込む

パンフレットだけのスペシャル動画

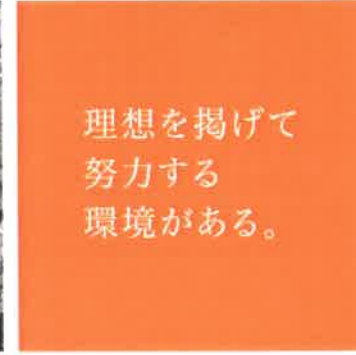


拓一生のリアルなスクールライフや、
学校に関する情報を集めました。
ホームページにも載っていない特別な
「拓一」をぜひ体験してください。

例えば…
・拓一生の学校生活
・先輩からのメッセージ
・先生からのメッセージ
・360°Photoによる施設紹介
など盛りだくさん！



最高の先生と
仲間に出会えた。



実践的な
英語力が
身についた。

理想を掲げて
努力する
環境がある。

明確な目標を持つことが 充実した高校生活のカギになる



拓殖大学第一高等学校で身につけてほしい力、それは卒業後もずっと幸せに生きていく力です。本校の教育方針である「心身ともに健全で、よく勉強し、素直で思いやりある青年を育成する」ことを実践し、その力を身につけてもらいます。

拓一の学校生活は入学してすぐ「将来の自分」を思い描き、各自の目標を明確にしていくことからスタートします。目標こそが充実した濃い3年間につながると確信しているからです。そして目標達成のための土台となる勉強に関しては、しっかりと指導します。留学や先進的な英語プログラムなど語学指導に力を入れているの

も拓一の伝統です。

とはいえ、拓一はけっして勉強だけの学校ではありません。生徒はクラブ活動や委員会活動、学校行事にも一生懸命取り組んでいます。約1300名という多くの生徒が集う学校だからこそ、多様な個性の中で自らを磨き、将来につながる力を培うこともできるでしょう。

拓一には、すべての生徒が自分の新しい扉を開くことができるたくさんのチャンスがあります。ぜひここで私たちと一緒に青春を謳歌し、次のステップに進む足掛かりにしてください。



学校長 宮川 努

校歌

一、右手に文化の炬をかげ
扶桑の岸に声あげて
闇は消えよと呼ぶは誰ぞ
人は醒めよと呼ぶは誰ぞ
嗚呼輝ける雄渾の
姿ぞ我の精神なる

二、雲は焰の色に飛ぶ
南国水はたぎるとも
春光永久にへだてたる
北地に氷りとざすとも
仰いで星を見るところ
拓かでやまじ我が行手

三、人種の色と地の境
我が立つ前に差別無し
青雨ひとしく湿さば
磯确やがて花咲かむ
使命は崇し青年の
力あふるゝ海の外

高校3年間で確かな成長を遂げる。

生徒一人ひとりが思い描く「理想の自分」を具体化し、その未来を拓く力を3年間で育むキャリア支援

1 年次



基礎学力の充実、自分の生き方を考える
(文理選択と志望分野を考える)

ガイダンスや個人面談などの機会を通じて進路について考え、「将来どう生きたいのか」という意識を育て、文系・理系の志望分野を選択します。

2 年次



文系、理系に分かれて学力を伸ばす
(第一志望校を考える)

大学説明会やオープンキャンパスへの積極的な参加、各大学の情報収集などを行い、「行きたい」と思える志望校選択を行います。

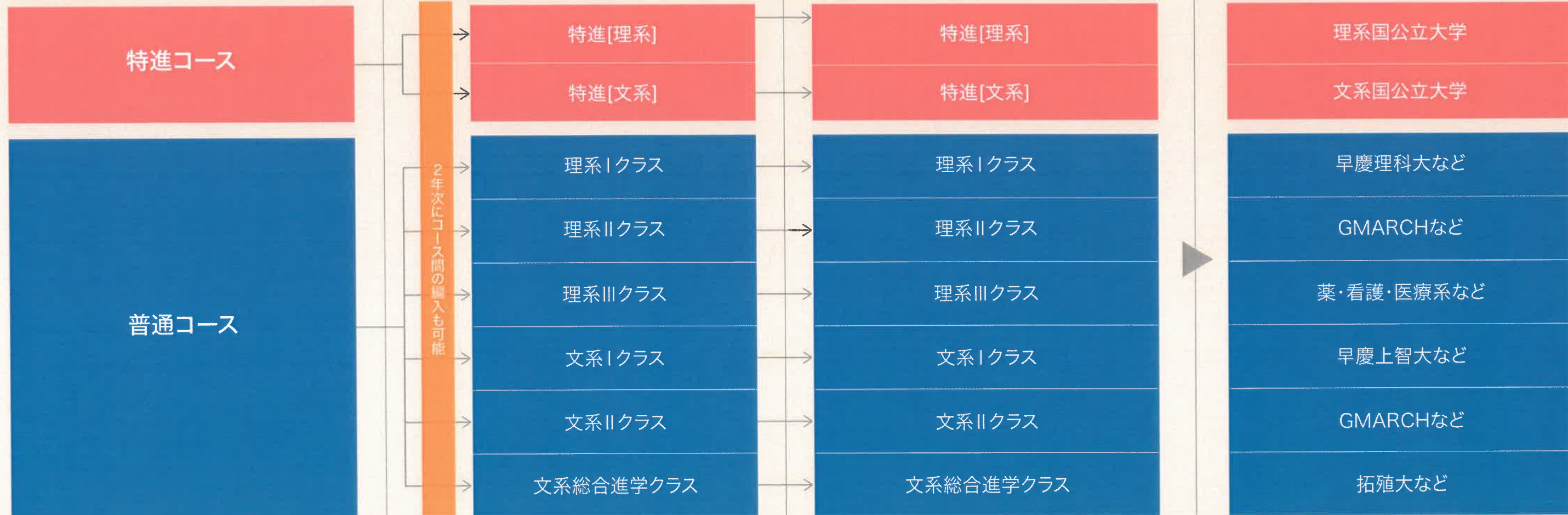
3 年次



目標に向かって学力の総仕上げ
(進路実現へ向けて突き進む)

さまざまな学習サポートを効果的に活用し、目標達成に向けてラストサポート。明確な目標を持って、夢の実現を目指します。

進路実現を目指すための目標大学群





特進コース

ハイレベルなカリキュラムを組み、
国公立大学への現役合格を目指します。

少人数制で密度の濃い授業を展開

特進コースは少人数制で、国公立大学・難関私立大学への進学を目標にしています。1・2年次は基礎力の定着に主眼を置き、2・3年次は実践力・応用力を養成。ふだんの授業はもとより、毎朝の小テストや大学入学共通テスト・各大学の入試に向けての対策など、大学合格に必要な力をつけるハイレベルなカリキュラムが組まれています。2年次進級の編入試験に合格すれば、普通コースからの編入も可能です。



POINT 「特進コース」の ポイント

1 少人数制による きめ細やかな学習指導

1クラス30人以内の人数設定により、すべての生徒に目が行き届くきめ細やかな学習指導を行います。さらに「生活の記録」を実施し、一人ひとりの生活や学習状況を把握したうえで、しばしば面談を行うなど、ていねいな対応で学習効果を高めます。

2 大学入学共通テスト 5教科7科目に対応

国公立大学合格には大学入学共通テスト対策が不可欠です。そのため特進コースでは5教科7科目を必修科目として設定し、バランスのよい授業を展開しています。塾に通わなくても十分な受験対策ができます。

3 難関大学にチャレンジ できるカリキュラム

1年次は英数国の時間数を増やし、しっかりした土台を作ります。2年次で教科書の内容はほとんど修了し、3年次では大学入学共通テスト対策を含め、実践的な演習を行います。

4 学習習慣を構築する 0時間目の小テスト

知識と思考力は国公立合格に必要な学力の両輪です。毎朝0時間目の小テストで学習習慣と知識の定着を図り、日々の授業で思考力を鍛えます。

5 夏期・冬期・春期 集中授業

長期休暇中の集中授業で授業進度を早め、記述・論述の演習や実験・レポート作成にもじっくり取り組みます。3年夏期には大学別対策講座も実施します。

6 受験生へと 切り替える仕組み

2年次の冬期に勉強合宿を行い、2年生の3学期を3年生の0学期として意識させ、受験生としての取り組みを後押しします。

7 特進コースのみ対象の 奨学生制度

1年次は入学試験、2・3年次は定期試験・外部模試の成績などをもとに奨学金を授与し、生徒の学習意欲向上を促しています。



● カリキュラム

詳細は
こちらから▶



		5	10	15	20	25	30	35	40
1年次	共通	国語総合	世界史A 日本史A	数学I	数学A	物理基礎 生物基礎	体育 保健 音I/美I	コミュニケーション英語I 英語表現I	総合 HR
2年次	理系	現代文A 古典A	現代社会	数学II	数学B	化学基礎 化学	物理/生物	体育 保健 コミュニケーション英語II 英語表現II	家庭基礎 社会と情報 総合 HR
	文系	現代文B 古典B	世界史B/日本史B	現代社会	数学II	数学B	化学基礎	体育 保健 コミュニケーション英語II 英語表現II	家庭基礎 社会と情報 総合 HR
									※社会と情報は集中授業
3年次	理系	国語演習	倫理/現代社会	数学II	数学III/数学I・理科演習	化学演習	物理演習/生物演習	体育	コミュニケーション英語III 英語表現II 総合 HR
	文系	現代文演習	古典B	世界史B/日本史B	世界史演習/日本史演習	倫理/現代社会	数学I 理科演習	体育	コミュニケーション英語III 英語表現II 総合 HR

※変更する場合があります。

こんな
皆さんに
おススメ!

明確な目標があれば 学ぶことはこんなに楽しい!

特進コースでは「必要なことは授業の中にすべてある」というスタンスで指導を展開。勉強量が多く、たいへんと思うかもしれませんが、生徒は明るく、前向きに取り組んでいます。仲間と一緒に学ぶことが励みにもな

り、刺激にもなっています。「明確な目標があれば、知識を蓄積し新しい知識を習得することはこんなにも楽しいことなんだ」と実感する経験をたくさん積んでください。



POINT
「普通コース」の
ポイント

3 クラブ活動にも
最大限打ち込める

高校生活ではクラブ活動も大切なこと。大学受験をめざしながら、積極的にクラブ活動に参加したい生徒を全力で応援します。

1 難関私立大学から拓殖大学まで

拓殖大学以外の4年制大学の現役進学者が8割という現状を踏まえ、難関私立大学受験にも対応できる合理的なカリキュラムを構成しています。2年次より、早慶上智理科大などを狙う「理系Iクラス」「文系Iクラス」、GMARCHなどを狙う「理系IIクラス」「文系IIクラス」、拓殖大学への推薦入学を目指す「文系総合進学クラス」に分け、一人ひとりの志望に応じた授業展開および進路指導を行います。

2 拓殖大学への推薦入学
(学校長推薦者は全員合格)

日々の授業や毎日の生活への取り組みが大学進学につながります。系列の拓殖大学各学部へは校内推薦を取れば無試験で入学できます。また、他大学との併願受験も可能です。

4 外部講師による
校内予備校や
進路説明会を開催

大学入試で大きなウエイトを占める英語や国語、数学の外部講師を依頼。受験に直結する講座を1年から3年まで開講しています。また、大手予備校の講師や大学の先生を招くなどさまざまな説明会も開催しています。

5 普通コース
奨学生制度を設置

入試の成績上位者に入学金・授業料に相当する奨学金を授与する制度があります。入学後は年度ごとに審査決定。また、体育奨学生制度もあります。

6 附属高校の特性を
活かした自由選択科目

1年次から第二外国語として、中国語とスペイン語の初級・中級・上級の授業を設置。2年次からは簿記も履修できます。



●カリキュラム

	5	10	15	20	25	30	35	40			
1年次 共通	国語総合	世界史A 日本史A	数学I	数学A	物理基礎 生物基礎	体育 保健	音I/美I	コミュニケーション英語I	英語表現I	総合 HR	自由選択
2年次	現代文A 現代社会	数学II	数学B	化学基礎	化学	物理/生物	体育 保健	コミュニケーション英語II	英語表現II	家庭基礎	総合 HR 自由選択
	現代文A 現代社会	数学II	数学B	化学基礎	化学	生物	体育 保健	コミュニケーション英語II	英語表現II	家庭基礎	総合 HR 自由選択
	現代文B 古典B	世界史B/日本史B	現代社会	数学II	化学基礎	体育 保健	コミュニケーション英語II	英語表現II	家庭基礎	総合 HR 自由選択	
	現代文B 古典B	日本史B	現代社会	数学II	化学基礎	体育 保健	コミュニケーション英語II	英語表現II	家庭基礎	総合 HR 自由選択	
3年次	数学III	数学演習	化学演習A	物理演習A/生物演習A	体育	コミュニケーション英語III	英語表現III	社会と情報	総合 HR	自由選択	自由選択
	数学III	数学演習	物理演習A/化学演習A/生物演習A	無選択演習/化学演習B/生物演習B	体育	コミュニケーション英語III	英語表現III	社会と情報	総合 HR	自由選択	自由選択
	数学I	数学II/現代文A	化学演習A/生物演習A	化学演習B/生物演習B	体育	コミュニケーション英語III	英語表現III	社会と情報	総合 HR	自由選択	
	現代文演習	古典B	世界史演習α/日本史演習α	世界史演習β/日本史演習β	体育	コミュニケーション英語III	英語表現III	社会と情報	総合 HR	自由選択	
	現代文演習	古典B	世界史B	現代社会	体育	コミュニケーション英語III	英語表現III	社会と情報	総合 HR	自由選択	

※変更する場合があります。

普通コース

オールラウンドな学力の養成を図り、生徒が希望する進路に幅広く対応します。

進路希望に応じたクラス編成

普通コースは難関私立大学に対応したカリキュラムを用意しており、演習などの選択科目も充実しています。2年次からは進路希望に応じたクラス編成となり、各自の進路に対応した効果的な学習ができるようになります。また英語は、「グローバルな視野を持って行動できる真の国際人」をコンセプトに、コミュニケーション能力の向上と大学受験に対応した学力の習得を目指す実践的な授業を行います。



こんな
皆さんに
おススメ!

部活動や海外研修などを
勉強と両立して、将来に向かう

普通コースでは、大学進学に向けて勉強に専念するだけでなく、部活動に打ち込んだり、海外語学研修プログラムに参加するなど、それぞれの目標に応じた3年間を過ごすことができます。高2から細分化した6クラ

ス編成で、志望校合格はもちろん、クラスによっては中国語、スペイン語、簿記を取ったり、高大連携教育を取り入れるなど、幅広い進路に対応できるシステムが整っています。

生徒の思いを100%実現するために

高い進学率を誇る

拓一は毎年8割を超える現役合格者を誇ります。この高い実績を実現しているのは、生徒一人ひとりの目標達成に寄り添うサポート体制です。徹底した学習指導はもちろん、面談やガイダンスできめ細やかにフォローし、将来に向けてまっすぐ進む力を培います。

【進学実績】

2019年度主要大学合格数

●国公立大学

一橋大学<1名>・筑波大学<1名>・東京芸術大学<1名>・横浜国立大学<2名>・東京学芸大学<1名>・電気通信大学<3名>・東京農工大学<1名>・埼玉大学<1名>・山梨大学<2名>・鳥取大学<1名>・富山大学<1名>・高知大学<1名>・弘前大学<1名>・都立大学<5名>・横浜市立大学<1名>・都留文科大学<1名>・山梨県立大学<1名>・福井県立大学<1名>・国立看護大学校<1名>・海上保安大学校<1名>

●私立大学

早稲田大学<20名>・慶應義塾大学<3名>・上智大学<6名>・東京理科大学<19名>・学習院大学<6名>・明治大学<32名>・青山学院大学<28名>・立教大学<26名>・中央大学<37名>・法政大学<57名> 他

主な合格者数(2020年3月現在)

国公立大
28名

早慶上智理科大
48名

GMARCH
186名

2019年度指定校 一覧

早稲田大学	1名	芝浦工業大学	6名
東京理科大学	2名	東京薬科大学	3名
明治大学	2名	明治薬科大学	2名
青山学院大学	4名	津田塾大学	2名
中央大学	7名	東京女子大学	2名
法政大学	3名	日本女子大学	1名
学習院大学	4名		

※次年度以降変更されることもあります。

先生 Interview |

理想の将来を実現する拓一オリジナルの進路指導

富永 斉 教頭

拓一の進路指導で何よりも大切にしているのは、「現状から将来」ではなく、「将来から今」を考える方向性です。「今、この成績だから、この大学を受験する」のではなく、「将来、こうなりたいから、この大学に入りたい。そのために今の自分は何をすべきか？」と逆算して考える。そうすることでモチベーションを高め、一人ひとりが自主的・主

体的に取り組むことができるようにしているのです。生徒には、自分の人生なのだから、自分で考えて、あきらめず妥協せずに目標を貫いてほしい。自分の理想の将来を思い描き、そんな「大好きな自分」になるためにはどうしたらいいかを真剣に考えて、本気で努力する3年間を過ごしてほしいと願っています。



進学先 2020年3月卒業生(378名)

本校は例年、現役合格者が8~9割という高い進学決定率を誇っています。そして、多くの生徒が自分の希望する国公立・難関私立大学へ合格しています。



拓殖大学への内部推薦による学部学科合格状況

学部	学科<合格者数>
商学部	経営学科<7名>/国際ビジネス学科<1名>/会計学科<0名>
政経学部	法律政治学科<3名>/経済学科<6名>
外国語学部	英米語学科<1名>/中国語学科<0名>/スペイン語学科<0名>/国際日本語学科<2名>
国際学部	国際学科<1名>
工学部	機会システム工学科<1名>/電子システム工学科<0名>/情報工学科<1名>/デザイン学科<0名>

拓殖大学の併願制度

付属校ならではの推薦入学制度による拓殖大学への進学はもちろんのこと、他大学との併願制度も導入しています。

生徒 Interview |



八幡 一吹くん (2020年3月卒業)

<特進コース> 八王子市立鎌水中学校出身

進学先: 一橋大学経済学部経済学科

拓大一高の先生方は個別の質問にも丁寧に答えてくれ、こうして得られた幅広い知識は今も学問相互の関わりを深く理解することに役立っています。この理解を活かし、将来は世界を総合的に俯瞰できる力を身につけた大人になりたいと思います。

生徒 Interview |



高瀬 安澄さん (2020年3月卒業)

<普通コース> 武蔵野市立第二中学校出身

進学先: 早稲田大学商学部

拓大一高は勉強だけでなく部活動も盛んで、私も運動部(バレーボール部)に所属していたので時間の使い方に最初は苦労しましたが、空き時間の上手な使い方を学ぶことができました。また、部活での友達とは受験期でも励ましあったりしていたので、部活を3年間頑張ったことはとてもよかったと思います。

第一志望への進路指導は校内で完結



サポートプログラム

高校と中学との大きな違いは学習内容と卒業後の進路です。学習内容に関しては授業の質・量ともにレベルアップします。そのために予習・復習が必ず必要になります。卒業後の進路は生徒によって多岐にわたるので、それぞれに必要な学力を効果的に身につけ自己実現ができるために次のようなサポートプログラムを用意しています。

- **小テスト・確認テスト**
確かな学力を養う予習・復習サイクル
- **夏期授業・冬期授業・春期授業**
各学期授業総復習で差をつける
- **校内模擬試験**
全国の受験生と競い「今」必要な学びを知る
- **スタディサポート**
基礎力及び学習習慣の確認
- **みらい探究**
卒業生などを招いて講演。大学生活や職業に対する具体的なイメージ作りに活用
- **小論文講座**
受験に必要な生徒対象に指導
- **大学の先生による進路ガイダンス**
大学を知ることが進路実現の第一歩
- **個人面談**
年平均5回実施
- **第一志望届**
早期に将来を見据え叶えたい夢を抱く

新大学入試対策について

大学入試改革により、学力はもちろんのこと、高校での積極性や自主性についても評価されるようになりました。新たな入試に対応できるよう、本校でも様々な取り組みにチャレンジしています。

ピックアップ! 校内予備校(原則放課後実施)



「プロ講師の授業と徹底した日々の生徒フォロー環境」で他に類を見ない校内予備校を実現

拓大一高の校内予備校はスタートから10年以上になります。令和元年の高1生の年間授業受講者数が200名を超え、過去最高となりました。教室には友達同士やクラブ前ユニフォーム姿で受講する生徒など、それぞれの夢を実現するために一生懸命頑張っている拓一生と熱心に指導する講師の熱気が溢れています。

2019年実施例

- 年間授業料1講座90分×24回 36000円(教材費・振込手数料込)
 - ・3年生:1学期12回/2学期12回
 - ・1、2年生:1学期10回/2学期10回/3学期4回
- 開講講座
 - ・高3 【国立早慶上理 総合英語】【GMARCH 総合英語】
【数学IA 実践演習】【数学IAIIB 実践演習】【数学III (IAIIB) 実践演習】
【早稲田上智 現代文・古文】【GMARCH 現代文・古文】
 - ・高2 【ハイレベル総合英語】【スタンダード総合英語】【数学IIB】
【高2現代文】【高1数学〜「わかる」を「できる」へ〜】
 - ・高1 【高1英語「中学英語からの脱却とGMARCH早慶上理レベル 現役合格への土台作り」】
【高1数学IA「自力で解く! 解けるまで帰れない! 数学IAマスター講座」】

※学期末や長期休暇時に講習を実施する場合は、別途お申込み頂きます。2019年度は夏期講習を実施しています。

木村 先生
＜校内予備校 責任者＞

20年以上にわたり塾・予備校・都内私立高校・神奈川県立高校で授業を担当。某大手個別指導塾では当時、全国4000教室中、常に表彰される教室を運営し、その後、首都圏に7教室を運営する予備校本部長を経て、現在、拓殖大学第一高等学校の校内予備校を運営・管理する塾の代表。

高校での学校行事や部活動での取り組みを自己評価し、学んだことについてまとめます。自主性や積極性を評価するための資料として扱います。

第一志望にこだわる本校では、一年次の五月から「将来どうなりたのか」を考え、講演やアンケートを通して志望学部や文理を決定していきます。



世界を舞台に、 世界を拓け！

拓一には2つのコースから行き先を選択できる修学旅行をはじめ、希望参加の語学研修やターム留学、海外留学生の受け入れ、独自の英語プログラムなど、将来国際人として活躍するためのセンスが身につくさまざまな機会がそろっています。積極的な国際交流を通じて、あなたも拓一から世界に飛び出してみませんか？



生徒 Interview

留学を経験をきっかけに、行動力のある人間に

山岸 レオナ <普通コース> 【留学先/オーストラリア】 清瀬市立清瀬第五中学校

実際に留学をしてみて一番強く感じたことは、行動することの大切さです。私は最初、ホームステイ先に馴染めず、ホストファザーから「日本人はシャイだ」と言われたことがありました。その言葉がすごく悔しかった私は毎

晩二人で話す時間をもらい、「あなたの英語はすごく良いね」と言ってもらえるまでになりました。その経験は今まで一番大きな自信に繋がっており、留学前より行動力がある人間になることができたと思っています。



台湾

マレーシア
&
シンガポール

オーストラリア

ニュージーランド



ニュージーランド 夏期語学研修・交換留学

7月下旬からニュージーランドの南島で、希望参加制による約2週間の語学研修を実施。さまざまなアクティビティやホームステイ体験を通して、語学だけでなく、現地の文化や生活習慣を学びます。ニュージーランドの雄大な自然や人々の温かさに触れる2週間は、一生心に残る貴重な経験となります。提携校のワイマテ高校とは10年以上交流を続けていて、長期交換留学制度もあります。



オーストラリア ターム留学

オーストラリアへのターム留学は、ニュージーランドの2週間の英語研修から一歩進んで、徹底した語学力の養成を目指しています。現地の家庭に滞在し、その家族と生活をともにしながら、オーストラリアの高等学校に1学期間(10週間程度)通学します。生きた英語を学び、広くオーストラリアの習慣、歴史、文化に親しむとともに、日本について考えるチャンスにもなっています。参加した生徒は驚くほど成長し、自信を身につけて帰ってきます。



台湾 or マレーシア&シンガポール 修学旅行

2年次3月に全員参加で実施する修学旅行の目的は、世界のさまざまな地域の文化を肌で感じるとともに、外から日本を見る経験を通じて自分の生き方や将来についても考えること。「台湾」または「マレーシア&シンガポール」の2コースから生徒自身の希望による選択型となっており、自ら選択することで、受け身ではなく積極的な姿勢で修学旅行に参加することができます。

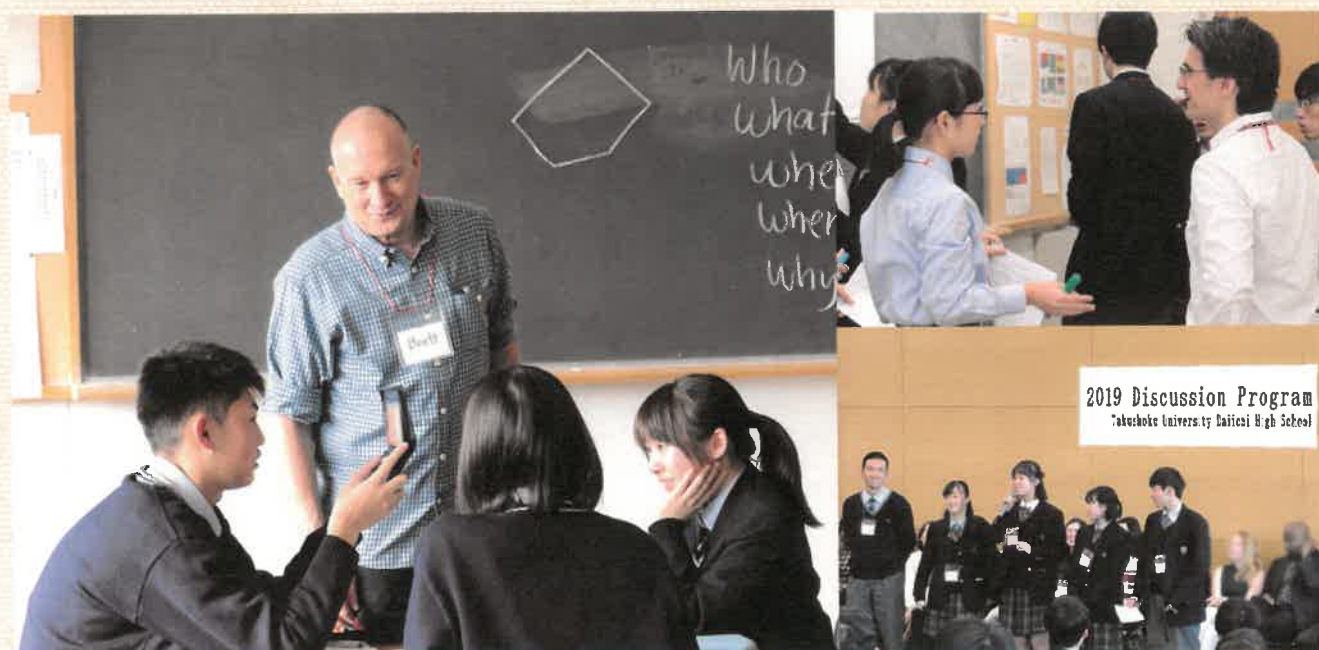
●台湾

拓殖大学の原点に触れる旅です。現地大学生と一緒に市内をめぐり、同世代のアジアの若者と交流できます。

●マレーシア&シンガポール

多民族国家の成り立ちとその中で共生を考える研修です。マレーシアでは農村体験「カンボジット」も行います。

拓大一高の英語教育



先生 Interview

遠藤 謙一 先生<英語科>

英語が好きになるためには「英語が得意になること」。
まずは得意になるためのテクニックを徹底的に身につける。
拓一の英語はそこからスタートします。

拓一の英語教育の目標は、「英語知識の効率よい習得」と「英語4技能を鍛える適切なトレーニングをすること」です。この二つを両方とも達成するためにはたくさんの学習時間が必要になりますが、本校は中高一貫校ではないので、3年間という限られた時間しかありません。そこでこの時間内に目標を達成するために、各学年とも英語の授業時間数を多く設定して問題演習量を増やすとともに、大学受験に必要な知識を効率よく身につけることができるように小テストの回数を増やしたり、短時間で英文を正確に読めるようになるための様々なテクニックを教えています。さらに、重要文法事項が含まれた英文の暗唱作業やディクテーションなど、スピーキング力・リスニング力を鍛えるトレーニングも授業内に実施し、3年間で総合的に英語力を高めるためのカリキュラムを組んでいます。

また、英検などの外部資格試験に対応するために、英検2級用の教材を授業中に扱うとともに、音読活動を英語教育の根幹と考え、音読活動が行いやすい教材も導入しています。

1年生の「コミュニケーション英語Ⅰ」の授業では、1学期のかかりの期間を使って、リーディングに関するテクニックを集中的に鍛えます。たとえば英文に記号を書き込んで読みやすくするといった実践的なテクニックをこの段階で徹底的に身につけ、次のステップにつなげます。最初は戸惑う生徒もありますが、次第にそのテクニックに慣れて、正確に英語を読めるようになってきます。

今後は、大学共通テストでリスニングの配点が上がっていることにも対応し、ディクテーションやシャドーイングなどのトレーニングを行う時間をさらに増やす予定です。

拓一では、英語を理解し、使いこなせるようになるための基礎的な力を、系統立てて身につけることができます。英語が好きになるために一番手っ取り早いのは英語が得意になることです。そして得意になれば好きになる。好きになればもっと得意になる。——このスパイラルに早い段階で入れるように、一人ひとりの状況に合わせて、ていねいに指導していきます。

ディスカッションプログラム



先生 Interview

拓一オリジナルの先進的な英語プログラム

松原 誠 教頭

拓一は「国際人の育成」を建学の理念とする拓殖大学を母体とし、伝統的に国際教育に力を入れてきました。英語の授業数が多いだけでなく、海外研修をはじめとする様々な取り組みを行っていますが、なかでも「ディスカッションプログラム」は、急速に進むグローバル化社会に対応してスタートした拓一オリジナルの先進的なプログラムです。これは英語4技能をバランスよく育む英語プログラムであると同時に、生徒が主体となって深い学びに取り組み、仲間と協働しながら表現力・発信力を培う探究プログラムにもなっています。

対象は1年生全員です。約70人の外国人講師を招き、少人数のグループに分かれて、年間5日間、各日4時間かけて英語ディスカッションなどを実施し、最後にプレゼンテーション発表を行います。最初は12人ずつ、その後6人ずつのグループに分かれて、それぞれに外国人講師が1名付いて指導します。外国人講師はアメリカ、イギリス、カナダ、ニュージーランドのほか、コンゴやジャマイカなど多様な国籍を持ち、生徒は毎回、毎時間ごとに、ナショナルリティの異なる先生方とコミュニケーションをとることになります。すなわち日本にいながら

プログラム内容

12月<2日間 ディスカッションを中心に>

各グループごとに、外国人講師が1名付いて指導します。日本文化について、「祭」「教育制度」など、それぞれテーマをもってディスカッションをくり広げ、意見をまとめます。

3月<3日間 プレゼンテーションを中心に>

各クラスで全グループが発表する機会を設け、そのうえで代表チームを選出します。英語力はもちろん、発信力や表現力も養います。さらにこの成果を修学旅行でも発揮します。

して、異文化を体験するチャンスにもなっているのです。

全員参加のプログラムなので、なかには英語が苦手な生徒もありますが、アクティブラーニングに慣れ親しんでいる外国人講師たちは生徒のモチベーションを上げるのもうまく、ふだんの授業では見られない積極的な姿勢で臨む生徒も少なくありません。少人数グループでの取り組みなので、全員が発言しなければならず、置き取りになる生徒もいません。

プレゼンテーションも各クラスで全グループが発表する機会を設け、そのうえで代表チームを選出します。また今後は、2年生の3月に全員参加で実施している海外修学旅行でも、現地の学校との交流の場で、日本について英語で紹介するプレゼンテーションを行う予定です。

このプログラムを通して、生徒には、単なる語学の習得に留まらず、海外の人の視点でものを考える姿勢や英語ならではの感覚を身につけてほしいと考えています。高校生の間にそうした力を養うことは、生涯の宝になるはずです。



生徒 Interview

先生方の元気とサポートのおかげでとても充実した時間を過ごせました

早川 ココ <普通コース> 立川市立立川第三中学校

とにかく先生方が元気で、緊張していた私たちを一生懸命サポートしてくれました。そのおかげで徐々に慣れていき、みんなも笑顔で楽しく時間を過ごすことが出来ました。授業は全て英語で、途中でわからないことも出てきましたが、みんなで



助け合い、話し合いながらプログラムを終えることが出来ました。私はこの経験を活かし、チャンスがあれば将来は海外に目を向けていきたいと思っています。

修学旅行で国際的な発信力を磨く

拓一の修学旅行では、「台湾」「マレーシア&シンガポール」のどちらのコースも、現地の学校との交流を行う予定です。その中で、1年次のディスカッションプログラムで行ったプレゼンテーションの内容をさらに充実させ、現地の学生の前で発表するという機会も設けています。これは、ディスカッションプログラムで培った国際的な発信力を発揮する集大成の場ともいえます。生徒はこの経験を通して確かな自信と国際感覚を身につけるとともに、学びへの意欲を高めます。





卒業生より

拓一を信じて 夢を叶えた

拓一の特進コースで高校時代を過ごし、高1から志望していた大学に進学した田村さん。拓一のどんな指導が、目標達成につながったのか。また、その中で田村さんはどのような力を培ったのか。学業中心の3年間でも「勉強が苦痛だと感じたことは一度もなかった」という田村さんに、高校生活の思い出や拓一の魅力を語ってもらった。

ていねいで親切な授業が 勉強への意欲につながった

拓一で受けた授業は「すべてが印象的だった」という田村さん。「どの授業もていねいで親切なので、自分でもがんばろうと思えた」そうだ。「古典は何回も声に出して本文や文法を読むことによって自然と身につく授業でした。現代文は話がおもしろくて楽しかったので、苦手でも嫌にならずに授業を受けることができました。数学や化学や物理はつまづきやすいところをゆっくりわかりやすく説明して下さるとともに、授業中に習ったことは必ず演習することになっていて、確実に理解することができました。英語は、私たちがどうやったら英語ができるようになるかを常に考えてくださっていると感じられる授業でした。」

3年間在籍した特進コースの環境も、田村さんの勉強への意欲につながった。「特進コースは少人数で、各教科の担当の先生がほとんど変わらなかったこともあり、先生方ともとても仲よくなることができました。そのおかげで、わからないことがあっても質問しやすかったし、勉強の仕方を聞くこともできたり、ときには雑談もできて、毎日学校に行くのが楽しみでした。どの先生も本当に生徒想いで、そのことが伝わってくるからこそ、勉強をがんばろうという気持ちが強くなったと感じています。」そんな田村さんだから、高校時代、特に力を入れていたのも、定期的の実施される課題提出や朝テストにていねいに取り組むことだった。そして、毎日こつこつと学

校で習ったことを復習して基礎力を身につけるとともに、毎朝早起きして勉強することで時間を有効に使えるようになったという。

「拓一では、素直に先生がおっしゃることに耳を傾けて、学校でやったことの復習を怠らない、課題やテスト勉強をしっかりとやるといったことを続ければ、自然と力がつき、最終的に自分が行きたい大学に行くことができると確信しています。」



受験を乗り越えられたのは 先生と仲間の存在があったから

田村さんは、もともと国公立大学への進学を考えて拓一の特進コースを選んだが、具体的な志望校を決めたのは高1の夏ごろだった。「拓一は、定期的に行われる学年集会などで、高1から将来について考える機会があり、進学先についても直前になって焦るのではなく、時間をかけてじっくり考えることができました。学年集会では大学の受験

形式についての説明や、各教科の先生から現段階ですべきことの指導もあり、受験に向けて着実に準備を進めることができてありがたかったです。」

受験勉強を続けるうえでは、クラスの仲間の存在も大きかったという。「拓一は、自分の家と同じくらい居やすい場所でした。学校の授業がないときも教室に行き、クラスの人々と勉強したいと思っていて、特に受験期は本当にずーっと学校にいました(笑)。クラスが3年間同じだったこともあり、気心の知れた友だちばかりで、受験だからといってギスギスすることもなく、気分転換もできて、毎日がとても楽しかったです。一緒にいるとつい遊んでしまうということもなく、集中するときは集中し、息抜きするときは息抜きをするというサイクルも自然とできていました。」

こうして、心から信頼できる先生方や仲間とともに目標に向けて努力を重ね、田村さんは見事に志望校への合格を果たした

拓一で培った生活の基本は 卒業後も活かせる実感

現在、田村さんは、大学で自分のやりたかった専門的な勉強に取り組むとともに、アルバイトなど、今までできなかったことにも挑戦し、学生生活を謳歌している。「これからも、拓一に在学していたときと同じように、こつこつとがんばっていききたいです。高校時代に培った生活の基本は、大学でも社会でも活かせる実感しています。」

ワンポイントメッセージ

拓一の特進コースに3年間在籍し、第一志望の東京農工大学工学部生体医用システム工学科に進学。高校時代は勉強中心ではあったが、学校行事なども楽しみ、けっして勉強一辺倒ではなかった。「拓一では素晴らしい先生と仲間に出会えたので、勉強が苦痛だと感じたことはありません。先生方はご自身の経験からも勉強の大切さを痛感し、私たちに日々、それを伝えてくださっていました。みなさんも先生を信じてがんばってください」と、後輩へのメッセージを語ってくれた。

特進コース 2019年卒業

田村 沙貴さん

東京農工大学

工学部 生体医用システム工学科 2年生
(羽村市立羽村第二中学校出身)



卒業生より

拓一にいたから 今の自分がある

「部活動と勉強を両立し、文武両道をめざしたい」と考えて拓一に入学した小笹くん。3年間、高いレベルで目標を設定し、努力を重ねたという。そのなかで、小笹くんはどのような力を培ったのか。また、拓一でのどんな経験が今の小笹くんにつながっているのか。「拓一にいたからこそ選択肢が大きく広がった」という将来の展望も含めて、語ってもらった。

普通コース 2019年卒業

小笹 紘大くん

早稲田大学法学部

2年生

(国立市立国立第一中学校出身)

部活動と勉強を両立し、 文武両道を貫いた

小笹くんが、高校受験の際、学校選びのポイントにしたのは、部活動と勉強が両立できるかどうかということだった。「中学時代、ハンドボール部に所属していて、高校でもどうしても競技を続けたいという気持ちがありました。その一方、将来のことも念頭に置き、勉強にも力を入れたいと考えていました。」

そのため、拓一は学校見学だけでなく、部活動体験にも参加したという。「パンフレットなどの情報と先生方の説明で、大学進学に向けて勉強に力を入れている学校だということはわかりましたが、部活動については、話を聞くだけでは本当のところはわからないと思っていました。それで実際にハンドボール部の練習に参加し、しっかり活動が行われていることを確認しました。」



小笹くんは「ここなら、自分の希望が叶えられる」と思い、拓一入学を決める。コースについては、「高校時代は思いっきり部活動に打ち込みたい」という思いが強かったため、普通コースを選択。部活動と勉強どちらも手を抜かず、高いレベルで文武両道をめざすことを決意した。「具体的に、部活動では関東大会出場、勉強では学年でトップクラスを保ち続けることを目標として掲げました。そして3年間、どちらも結果を出すために努力し続けたことで、忍耐力や集中力が身についたと思います。」

先生の支えと友だちの刺激が 成長のカギになった

小笹くんは、「拓一は課題や朝テストも多く、毎日の学習に取り組むだけで力の伸びる環境が整っていた」と話す。基礎を固めたり、知識を身につけるだけでなく、生徒の興味を引き出すような授業も多かった。「なかでも印象に残っているのが、ネイティブの先生による英語の授業です。自分は英語が好きなので、英語でクイズやゲームをしたときはとても楽しかったです。またペアワークやグループワークを通して自分から英語を発信する力も身につけられました。」

塾には通っていませんでしたので、勉強のことでわからないことがあれば、すべて拓一の先生に質問に行った。大学受験に向けての相談も先生方だけが頼りだったという。「拓一は進路指導がしっかりしていて、大学説明会や受験の仕組みについての講義が充実していたのでとても助かりました。また、先生方はお勧めの参考書を教えてく

れたり、わからない問題をていねいに解説してくれたり、模試の成績が悪くて自信を失っているときには励ましてくれたりと、いつも力になってくださいました。」

友だちの存在も大きかった。「クラスの友だちはみんな勉強熱心で、点数を競い合ったり、受験期でもお互いにアドバイスしたりと、切磋琢磨しながら成長できたと思っています。」

そして小笹くんは、高校2年の冬ごろ志望校に決めた早稲田大学の法学部に、見事に合格を果たした。

拓一で、将来の選択肢を 増やすことができた。

小笹くんは拓一での高校生活の中で、部活と勉強だけでなく、行事にも力を注いだ。体育祭では黄団の団長を務めたという。「はじめは自分にできるか不安でしたが、支えてくれる仲間がいたからやり遂げることができました。体育祭の経験を通して、新しいことに挑戦する楽しさを実感しました。」

高校時代を振り返り、「拓一は自分にとってかけがえのない場所だった」と話す小笹くん。

「拓一に入学したことで、将来の選択肢を増やすことができました。何より拓一で出会えた先生方や友だちがいるからこそ、今の自分があると感じています。」

拓一で培った力を土台に、小笹くんは「将来、国際社会で活躍できる人間になる」という夢の実現に向けて、今も努力を重ねている。

インタビュー動画は
こちらでチェック!▶



ワンポイントメッセージ

拓一の普通コースで、3年間、ハンドボール部の活動と勉強とを高いレベルで両立し、充実した高校生活を送った。現在は早稲田大学法学部で学業に励みながら、体育会のハンドボール部にも所属し、高校時代と同じように、文武両道の達成をめざしている。「拓一は魅力にあふれた素晴らしい学校です。拓一でなら充実した高校生活を送れると思います。高校生活はあっという間なので一日一日を大切に過ごして最高の3年間にしてください」と後輩にエールを送ってくれた。



部活動
運動部

男子ソフトテニス部 [部員/16人]

僕たちは東京都ベスト16&インドア出場を目標に日々練習に励んでいます。経験者、未経験者ともに切磋琢磨しながら、和やかな雰囲気を取り組んでいます。



女子ソフトテニス部 [部員/20人]

私たちテニス部は、全力・ガムシャラをモットーに毎日の練習を頑張っています。関東大会出場を目標に日々部員全員で切磋琢磨しあって技術を磨いています。



男子バレーボール部 [部員/42人]

僕たち男子バレーボール部は比較的初心者が多い部活ですが、初心者でも経験者と同じくらい上達する人もいて、自分の成長を感じられる部活だと思います。



女子バレーボール部 [部員/25人]

私たち女子バレーボール部は、先輩後輩仲が良く、元気で明るく和気あいあいとした部活です。I部大会出場を目標に、切磋琢磨しながら日々一生懸命練習しています。



男子バスケットボール部 [部員/21人]

僕たち男子バスケットボール部は、一試合でも多く勝つことを目標に基本を重視した練習を日々行なっています。楽しい部活なのでぜひ体験に来てください！



女子バスケットボール部 [部員/21人]

少ない練習時間の中、質の高い練習を心がけています。自分の限界を決めずに、日々切磋琢磨し、チーム一丸となって目標に向かっていきます。



体操部 [部員/49人]

部員は主に初心者で基礎トレ(筋力・柔軟)重視でマットを使った練習のみを行います。競技会に参加しませんが部内での発表を中心に活動しています。



卓球部 [部員/14人]

私たちは「卓球」というスポーツを通じて、仲間たちと「絆」という名のラリーを続けることを目標とし、卓球の楽しさを日々実感しながら活動しています。



サッカー部 [部員/71人]

“サッカーを通して素敵な人になろう！”をモットーに活動しています。人工芝グラウンドというとても恵まれた環境の中、プレーはもちろん、学業との両立にも全力で取り組んでいます。



一緒に充実した
学校生活を送りましょう！



野球部 [部員/74人]

私たちは甲子園を目指して日々練習に励んでいます。学校生活と野球の両立をさせ、野球以外で学んだことも野球につながるとして行動するようにしています。



文武両道を目指して
頑張っています

主な実績

《陸上競技部(長距離)》

・東京都高校駅伝 男子第3位(令和元年度)
・関東高校駅伝16年連続出場(平成16～令和元年度)、
全国高校駅伝出場(平成19年・20年)

《サッカー部》

・インターハイ予選東京都ベスト19(令和元年度)
・全国高校サッカー選手権東京都大会出場(平成29年度、令和元年度)

《スキー部》

・全国高等学校スキー大会 女子大回転競技・回転競技出場(令和元年度)
・関東高等学校スキー大会 男子・女子 大回転競技・回転競技出場(令和元年度)

《チアダンス部》

・全国高等学校ダンスドリル選手権大会2019 JAZZ部門第1位(令和元年度)
・全国高等学校冬季大会JAZZ部門第1位、団体総合第2位(令和元年度)
・USA Nationals2019 全国大会 JAZZ部門第1位(平成30年度)

《男子ハンドボール部》

・東京都高等学校ハンドボール秋季大会 兼
全国高等学校ハンドボール選抜大会都予選 ベスト16(令和元年度)

《女子ハンドボール部》

・東京都高等学校ハンドボール秋季大会 兼
全国高等学校ハンドボール選抜大会都予選 ベスト8(令和元年度)
・東京都高等学校春季大会 兼 関東大会予選
ベスト16(平成30年度)



バドミントン部 [部員/154人]

週4日の活動で、高校から始めた人も多く、人数も100人を超えますが学年関係なく切磋琢磨して大会で勝つことを目標に練習をしています。



チアダンス部 [部員/34人]

チアダンス部は全国大会優勝を目標に日々全員で練習に取り組んでいます。辛い経験の分、楽しさや青春を味わうことができ、とてもやりがいのある部活です。



ラグビー部 [部員/10人]

私たちラグビー部は週3～5日活動しています。部員は皆初心者ですが、体幹を鍛えることから始めて、けがをしない体づくりを大事にしています。



相撲部 [部員/3人]

相撲部は、これまでに多くのインターハイ、国体、関東大会出場者を排出しています。経験者のみならず、初心者でも上記大会で結果を残すことができました。



スキー部 [部員/14人]

私たちスキー部はアルペン競技を行います。男女、先輩後輩みんなで協力し、関東・全国を目標に取り組んでいます。高校から競技をはじめた人も経験者も共に頑張っています。



男子ハンドボール部 [部員/27人]

男子ハンドボール部は、関東大会出場を目標に活動しています。ハンドボールは高校から始める人が多いので何か新しいことをしたいと思っている人にもおすすめです。



柔道部 [部員/8人]

柔道部では、週3日のペースで活動を行っています。初心者が多いので技の基礎からしっかりと習得することが可能です。男女問わず歓迎いたします。

水泳部 [部員/7人]

私たち水泳部は、学校にプールがないため、個人で活動しています。クラブチームに入っている人しか入部はできないですが、みんな自己ベストを目指して頑張っています。

各部活動の
様子は
こちらから
チェック！▶



陸上競技部(長距離) [部員/17人]

僕たち陸上部は全国高校駅伝に出場すること、全国で入賞レベルの意識を持って、生活、練習をすることを目標にしています。時に厳しく、明るさを大切に日々活動しています。

陸上競技部(短距離) [部員/28人]

私たちは都大会出場&入賞を目指して日々練習に取り組んでいます。初心者も多く、経験者と分け隔てなく目標に向けて努力しています。とてもやりがいのある日々です。



仲間と共に高みを目指し
練習しています



女子ハンドボール部 [部員/36人]

私たちは関東大会を目標に活動しています。拓一で1番と言っていいほど先輩後輩の仲が良く、どんな練習も全員で盛り上げて楽しく頑張っています。



真面目に楽しく
部活動に励んでいます

部活動

文化部



主な実績

《吹奏楽部》

- ・東京都高等学校吹奏楽コンクール A組銀賞、C組銀賞(令和元年度)
- ・東京都高等学校アンサンブルコンテスト
- ・サクソフォン八重奏 金賞、木管三重奏 金賞(令和元年度)

《演劇部》

- ・東京都演劇連盟中央大会出場 優秀賞(令和元年度)
- ・東京都演劇連盟中央大会出場 東京都第3位(平成30年度)
- ・東京都演劇連盟多摩北地区大会奨励賞(平成28年度・平成29年度)



物理・地学部 【部員/14人】

マイベースで自由な部活です。少人数で和気あいあいとした雰囲気の中で活動しています。ロケットを打ち上げたり、夏休みには合宿に行ったりしています。



吹奏楽部 【部員/76人】

初心者・経験者を問わず仲良く音楽を楽しんでいます。全員の音が1つにピッタリとまとまった時の達成感や感動を励みに、最終目標であるコンクールに向けて努力しています。



心を込めて
演奏しています

自分の好きな事を
全力で楽しもう！



E.S.S.部 【部員/32人】

週に一回、ネイティブの先生と一緒にゲームをして楽しく活動しています。ハロウィンやクリスマスなどのイベントの際にはパーティーをするなど、アットホームな雰囲気です。



写真部 【部員/16人】

写真部は校内外の活動だけでなく、体育祭等の行事でも撮影しています。日頃の活動を通じて、写真でものを表現する技術が身に付きます。



囲碁将棋部 【部員/5人】

大会出場かつ入賞に向けて、週2回と少ない練習時間ですが、部員一同、鋭意奮闘しています。堅苦しい雰囲気はなく、皆柔軟に活動しています。



文芸部 【部員/25人】

現在、男女合わせて18人で活動しています。季節や学校のイベントなどで部誌を発行しています。先輩後輩の仲がよく、和気藹々としてやっています。



生物・化学部 【部員/6人】

様々な臓器の解剖や身近なものを使った実験をしています。長期休みを利用して、水族館や博物館の見学にも行きます。文化祭では展示を行い、多くの人に解剖を教えます。



演劇部 【部員/20人】

演劇部では基礎的な体力作りから本格的な音響照明操作やプロの演技指導まで経験できます。みんなで一つの劇を作り上げる達成感他では得られません！



美術部 【部員/12人】

基本週2日で活動しています。部員同士の仲が良く、日々1人1人が技術の向上に努めつつ、互いに高め合う事が出来ています。参加自由の合宿も夏休みに行っています。

Special Contents

各部活動の様子は
こちらから
チェック！▶



華道部 【部員/14人】

華道部は生けたお花を校内に飾ります。お花を生けたことがなくても生け花の先生が教えてくださるので、みんな楽しくお花で作品を制作しています。全員が仲のよいクラブです。



みんなで仲良く楽しく
活動しています



パソコン部 【部員/16人】

私たちパソコン部は月・水の週2回、15人程度で活動しています。普段はゲームを作り、それを文化祭の時に発表することを目標に皆で頑張っています。



初心者大歓迎！
一緒に頑張ろう！

同好会 association

- フォークソング同好会
- スペイン語研究同好会
- 料理研究同好会
- 釣り同好会
- 日本史研究同好会
- 映画研究同好会

生徒会 Student council

- 生徒会執行部
- 図書委員会
- 環境美化委員会
- 行事運営委員会
- 放送委員会
- 防火委員会
- 保険委員会
- 新聞委員会
- 風紀委員会
- ボランティア委員会



パティオ(ウッドデッキ)



グラウンド(人工芝)



多目的ホール

Facilities

施設・設備

豊かな自然と
木漏れ日ふり注ぐ校舎に
囲まれて過ごす
充実の3年間

とてもゆとりのある設計で、生徒の心が落ち着き、
伸びやかな気持ちで学校生活が送れます。
勉強や部活動に、充実した3年間で
過ごせる空間です。



コンピュータ室



武道場



作法室



体育館



調理実習室



図書室



ペDESTリアンデッキ



テニスコート



化学実験室



School Event

年間 スケジュール

拓一では生徒の心身両面を成長させるための行事が
たくさん組まれています。お互いに競い合い、助け合うことで
友情や絆が生まれ、かけがえのない3年間を
過ごすことが出来ます。



4月 APR.

- 始業式
- 入学式
- 2・3年課題確認テスト
- 新入生オリエンテーション
キャンプ
- 外部模擬試験(全学年)
- 進路説明会

5月 MAY.

- 文理選択説明会(1年)
- 中間試験
- 選択科目説明会(1年)
- 体育祭

6月 JUN.

- 生徒総会
- 外部模擬試験(全学年)
- 選択科目説明会(1・2年)

7月 JUL.

- 期末試験
- 終業式
- 夏期講習
- 夏期授業
- ニュージーランド語学研修
- オープンキャンパス
- タム留学(9月まで)

8月 AUG.

- ニュージーランド語学研修
- 合宿(各クラブ)

9月 SEP.

- 始業式
- 防災避難訓練
- 課題確認テスト
- 読書感想文コンクール
- 大学説明会
- 文化祭
- 生徒母校訪問

10月 OCT.

- 中間試験
- 大学説明会
- 特進コース編入試験(1年)
- 大学受験ガイダンス(3年)

11月 NOV.

- 大学説明会
- 外部模擬試験(1・2年)

12月 DEC.

- 期末試験
- 合唱コンクール(1・2年)
- 冬期授業(1・2年)
- 勉強合宿(特進コース)
- 終業式

1月 JAN.

- 始業式
- 課題確認テスト
- 入試直前講習(3年)
- 外部模擬試験(1・2年)

2月 FEB.

- 外部模擬試験(特進)
- 学年末試験

3月 MAR.

- 送別会
- 卒業式
- 創立記念日
- 修学旅行(2年)
- 芸術鑑賞会(1年)
- 春期授業(1・2年)
- 終業式



Costume

制服紹介

拓一の制服はバリエーションが豊富。デザインだけでなく
機能性にも優れており、生徒たちは学校生活を快適に過ごしています。



入試情報・学費

令和3年度募集定員

普通科 男女共学 400名

・特進コース… 60名

・普通コース…340名

試験日(令和3年 予定)

推薦入試Ⅰ

1/22(金)

推薦入試Ⅱ

1/22(金)

(都内生・神奈川県生を除く)

一般入試Ⅰ

2/10(水)

一般入試Ⅱ

2/12(金)

学費(令和2年度参考)

入学期納入金	
入学金	250,000円
施設費	150,000円
後援会入会費	10,000円
オリエンテーションキャンプ参加費	26,500円
ディスカッションプログラム費	16,500円
合計	453,000円

制服・教材	
制服等指定品 ※シーズン用は別途、男女で異なります。 (制服、カバン、体育着、上履き、体育館履きなど)	約82,000～ 約90,000円
教科書など(入学時)	
普通コース	約28,000円
特進コース	約37,000円

月額	
授業料	37,000円
PTA・後援会費	1,900円
教育運営費	7,000円
合計	45,900円

年額	
生徒会費	7,500円

修学旅行費	
・約140,000～220,000円	
・10回分割可	

※行き先により金額は変わります。

●入学後、就学支援金と都の授業料軽減助成金の両方を申請された方のうち、住民税額等によって最大本校の授業料全額444,000円(年額)が支給されます。

沿革

昭和23年	3月	学制改革により、予科を改編 新制高等学校・紅陵高等学校として設立許可
	4月	紅陵大学高等学校(共学)を小平市花小金井に開校
昭和25年	4月	正明中・高等学校を設け合併し、紅陵大学正明中学校・ 紅陵大学正明高等学校と改称
昭和36年	8月	拓殖大学第一高等学校と改称(認可)
昭和57年	7月	海外語学研修(カナダ)開始
昭和62年	4月	普通科理外コース設置
昭和63年	3月	中国修学旅行開始
平成10年	10月	創立50周年記念式典挙行
平成13年	7月	海外語学研修(ニュージーランド)開始
平成14年～15年		「豊かな体験活動」推進事業指定校:文部科学省
平成16年	4月	武蔵村山市玉川上水に新校舎完成・移転 普通科特進コース設置(理外コース募集停止)
	5月	新校舎竣工式
平成17年	3月	オーストラリア修学旅行開始
平成20年	10月	創立60周年記念式典挙行
平成23年	3月	コース選択型修学旅行開始
	4月～	長期交換留学(ニュージーランド)開始
平成25年	4月	玉川上水移転10周年記念講座開催
平成28年	7月～	ターム留学(オーストラリア)開始
平成29年	3月	人工芝グラウンド完成
平成30年		創立70周年



拓殖大学創立者
桂 太郎

弘化4年萩生まれ。長州藩士として幕末維新に参加。維新後、ベルリンに留学し、プロシアの兵制を学ぶ。山県有朋や大山巖を輔けて軍制の改革を図り、参謀本部の独立、鎮台の師団改編等を行い、明治陸軍建設に大きな役割を果たす。その後、陸軍大将に昇進し、第二代台湾総督、陸相の後、明治34年初めて組閣の大命を拝し、第一次桂内閣首相として翌年日英同盟を締結。さらに同37年、日露戦争では戦勝に導き、戦争の集結を深謀。外相小村寿太郎を全権として講和条約を結ばせた功績は非常に著しい。明治33年(1900年)、台湾協会会頭として台湾協会学校(現拓殖大学)を創立して初代校長に就任、以後12年間にわたり拓殖大学の基礎をつくる。

拓殖大学について

「世界」を視野に、国際人の育成に努めています

拓殖大学第一高等学校の母体である拓殖大学は、1900年に創立以来、一貫して“国際人の育成”を建学の理念としてきました。現在、世界14か国30大学と提携し積極的に交流を図っている「国際大学」です。拓殖大学キャンパスでは、世界各国からやって来た留学生たちと日本の学生たちが共に学び語り合う姿を目にすることができます。



専門分野を学びながら国際性を身につける

大学は高等学校までに学んだことを基礎にして、皆さんが自分自身の将来を考え学びたいと思う学問分野を専門的に学ぶと共に社会に出て活躍できるよう準備をする場です。拓殖大学では、専門分野の力をつけると共に国際的な視野に立って周りの人と協力して積極的に課題の発見とその解決に向けて頑張れるような人を育てることを目標にしています。拓殖大学には経営、政治、経済などを学ぶことが出来る商学部、政治経済学部の他に英語、中国語、スペイン語など語学とその文化を学ぶことが出来る外国語学部、国際的に活躍できるよう広く世界の事柄を学ぶ国際学部、そしてロボットや人工知能といったような先端技術を学ぶことが出来る工学部があります。拓殖大学での学び

の大きな特徴の一つは、世界各国から来た多くの外国人留学生と一緒に学ぶことが出来ることです。多様な人と一緒に学ぶことにより、自然と国際性が身につく、自らの専門性と国際性を武器に国際的な舞台上で活躍している卒業生もたくさんいます。また、これからは人工知能等先端技術が急速に進歩することにより社会が大きく変化し、今学んでいることがあっという間に古くなってしまふこともあります。そのため、拓殖大学では学問の基本を学ぶことに力を入れています。それと同時に、変化する社会に対応して、文系の学部でも理系の知識を、理系の学部でも文系の知識を身に付けられるようにすると共に、常に新しいことにチャレンジすることが出来る人材の育成に力を入れています。



学長 Interview

拓殖大学学長
川名 明夫

よくあるご質問

Q 時間割について教えてください。

A SHR(ショートホームルーム)の中で朝読書や朝テストを行います。平日の終了時間は学年やコース・選択科目によって異なります。土曜日は4時間目までの授業です。

■時間割			
予鈴	8:30~	4時限	11:50~12:40
SHR	8:35~8:45	昼休み	12:40~13:25
1時限	8:50~9:40	5時限	13:25~14:15
2時限	9:50~10:40	6時限	14:25~15:15
3時限	10:50~11:40	7時限	15:25~16:15

Q どのような生徒指導をしていますか？

A 高校3年間で「社会に出るための準備期間」と位置づけ、社会に出ても困らない生徒の育成を目指します。そのため、礼儀、マナー、正しい言葉使いを身につけさせ、学校におけるルールを守るようにしています。

- 実施している指導例
 - ・朝の校門指導 ・登下校時のマナー指導
 - ・毎月の頭髪服装指導 ・制服着こなしセミナー

- 禁止されている主な事項
 - ・茶髪 ・パーマ ・化粧 ビアス ・男子の長髪等
 - ・原付免許、自動二輪免許、普通免許の取得など

Q 奨学生制度はありますか？

A 入学時に特進コースには特進奨学生制度、普通コースには学業奨学生制度があります。これは入学試験結果を審査して決定します。2年次以降は学業成績・人物等を勘案し毎年審査します。また入学後、体育系クラブ活動で実績をあげた者に対する体育奨学生制度もあります。

Q スマートフォン等の持参は良いですか？

A 校内への持ち込みは許可していますが、授業中や試験中は電源を切らなくてはなりません。スマートフォンやインターネットに関するマナー指導やトラブル防止の講習会などを実施しています。

Q 部活動は何時まで行っていますか？

A クラブによる活動時間、活動日は異なりますが、最終下校は19:30です。大会前は申請によって延長することも可能です。

Q 学校からの緊急時の連絡方法は何ですか？

A Classiを導入しています。入学後、生徒・保護者共に連絡先を登録していただき、緊急時等の連絡が速やかに確実に伝わるシステムです。

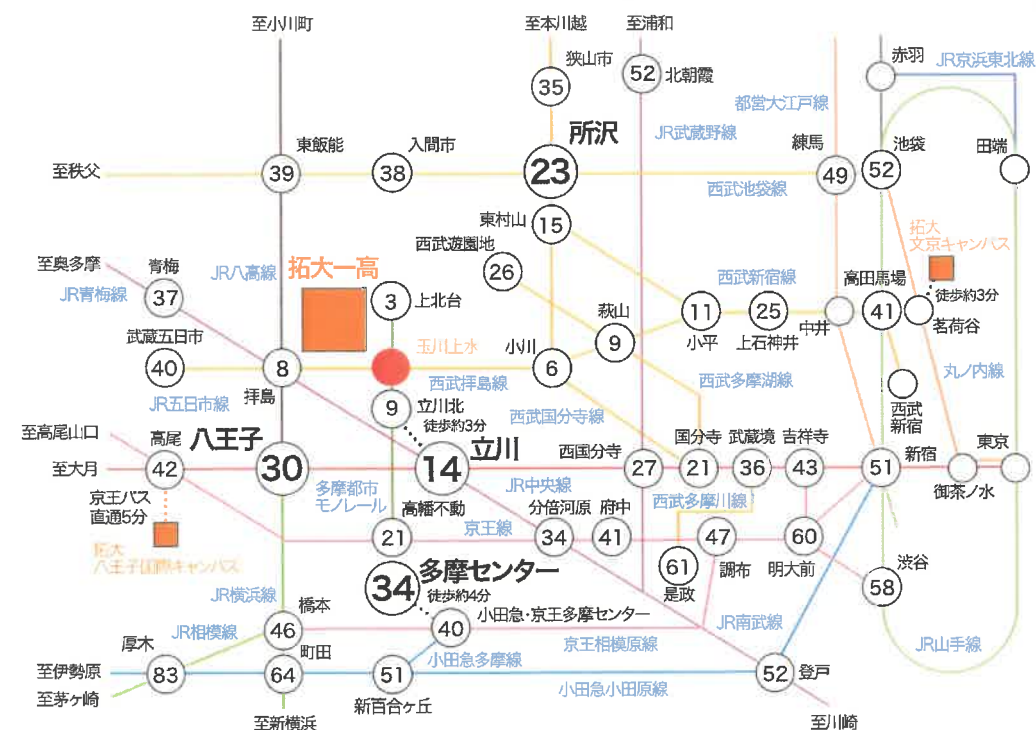


出身中学地域



アクセス

玉川上水駅下車、拓大一高口より徒歩3分！



※平日の朝8:25に「玉川上水駅」に到着する場合の一番早い所要時間(単位:分)